

新 旧 対 照 表

変更前	変更後
<p>(前略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>平成18年3月31日に新設合併により発足する伊那市は、長野県南部に位置し、人口73,963人(平成17年12月1日現在の市町村合計)、面積667.81平方キロメートルの市で、そのうち伊那市のうち旧伊那市(以下伊那地区とする)が、人口64,618人(平成17年12月1日現在)、面積207.64平方キロメートルを占めております。</p> <p>伊那市では、南アルプスと中央アルプスに抱かれ、市内を天竜川、三峰川が流れる、水と緑が豊かで自然に恵まれた「二つのアルプスに抱かれた自然共生都市」を将来像としております。この恵まれた地域資源である自然を守りながら有効に活用することによる、自然に優しい「水と緑の循環型社会」の形成と、また、人間関係が希薄になりつつある現代、日常生活圏での連携を高めることによる、高齢者にも、子供にも笑顔が溢れる「人に優しい助け合い社会」の形成を目標としております。</p> <p>「水の循環型社会」としては、天竜川や三峰川をはじめとする1級河川を浄化し、支流の清流を守るため、汚水処理施設整備を進め、さらに、汚水処理施設整備完了区域での下水道への接続を促進するために下水道展等を開催することにより、恵まれた自然(水)環境を維持・改善します。</p> <p>また、魚の放流や水生生物調査、水質調査を実施する「川シンポジウム」の開催を通して、自然(水)環境に接する機会を創出し、市民の自然(水)環境に対する関心を高め、また、河川環境をボランティアにて考え、実践する「三峰川みらい会議」をはじめとする市民団体等の活動に協力します。</p> <p>これらの事業により、市民が身近に感じられ、市民が主体となる「清ら</p>	<p>(前略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>平成18年3月31日に新設合併により発足した伊那市は、長野県南部に位置し、人口73,963人(平成17年12月1日現在の市町村合計)、面積667.81平方キロメートルの市で、そのうち伊那市のうち旧伊那市(以下伊那地区とする)が、人口64,618人(平成17年12月1日現在)、面積207.64平方キロメートルを占めております。</p> <p>伊那市では、南アルプスと中央アルプスに抱かれ、市内を天竜川、三峰川が流れる、水と緑が豊かで自然に恵まれた「二つのアルプスに抱かれた自然共生都市」を将来像としております。この恵まれた地域資源である自然を守りながら有効に活用することによる、自然に優しい「水と緑の循環型社会」の形成と、また、人間関係が希薄になりつつある現代、日常生活圏での連携を高めることによる、高齢者にも、子供にも笑顔が溢れる「人に優しい助け合い社会」の形成を目標としております。</p> <p>「水の循環型社会」としては、天竜川や三峰川をはじめとする1級河川を浄化し、支流の清流を守るため、汚水処理施設整備を進め、さらに、汚水処理施設整備完了区域での下水道への接続を促進するために下水道展等を開催することにより、恵まれた自然(水)環境を維持・改善します。</p> <p>また、魚の放流や水生生物調査、水質調査を実施する「川シンポジウム」の開催を通して、自然(水)環境に接する機会を創出し、市民の自然(水)環境に対する関心を高め、また、河川環境をボランティアにて考え、実践する「三峰川みらい会議」をはじめとする市民団体等の活動に協力します。</p> <p>これらの事業により、市民が身近に感じられ、市民が主体となる「清ら</p>

新 旧 対 照 表

変更前	変更後
<p>かな水の循環」の実現を目指します。</p> <p>「緑の循環型社会」としては、木の持つ良さが見直されているなかで林道を整備することにより、間伐や集材等の林業作業を軽減し、森林・林業の振興を図ることにより、「災害に強い森林」、森林レクリエーション等による「みんなが楽しめる森林」の実現を目指すとともに、市民等が参加する林業ボランティア活動を積極的に支援し、また、ボランティア活動を体験できる事業を開催することにより、森林の持つ重要さを多くの市民が体験し、森林(自然)への関心を高めます。</p> <p>さらに、林業作業により発生する間伐材等を自然エネルギーである「木質ペレット」として活用するために、公共施設及び公共的施設に木質ペレットストーブの積極的な導入を行い、木質ペレットストーブの持つ温もり、素晴らしさを体感する機会を増やし、また、木質ペレットの製造を行っている上伊那森林組合の事業に対し、木質ペレットストーブの幅広い利用を促進するために、安価で木質ペレットを製造出来る体制の整備を支援します。</p> <p>これらの事業により、地域全体での「自然資源(緑)の循環」の形成を目指します。</p> <p>「人に優しい助け合い社会」としては、大規模な高齢者介護施設を1箇所整備するのではなく、日常生活圏域ごとに地域に密着した、地域ニーズにあった小規模な高齢者介護施設の整備を推進します。その施設の利用者と元気な高齢者や地域住民がその施設に集い、花壇づくりなどの作業や子供などとの交流を通して、笑顔溢れる地域コミュニティの実現を図ります。短期間で伊那地区全地域に笑顔溢れる地域コミュニティを形成するために、既存施設を積極的に活用することにより、地域密着型介護施設の整備</p>	<p>かな水の循環」の実現を目指します。</p> <p>「緑の循環型社会」としては、木の持つ良さが見直されているなかで林道を整備することにより、間伐や集材等の林業作業を軽減し、森林・林業の振興を図ることにより、「災害に強い森林」、森林レクリエーション等による「みんなが楽しめる森林」の実現を目指すとともに、市民等が参加する林業ボランティア活動を積極的に支援し、また、ボランティア活動を体験できる事業を開催することにより、森林の持つ重要さを多くの市民が体験し、森林(自然)への関心を高めます。</p> <p>さらに、林業作業により発生する間伐材等を自然エネルギーである「木質ペレット」として活用するために、公共施設及び公共的施設に木質ペレットストーブの積極的な導入を行い、木質ペレットストーブの持つ温もり、素晴らしさを体感する機会を増やし、また、木質ペレットの製造を行っている上伊那森林組合の事業に対し、木質ペレットストーブの幅広い利用を促進するために、安価で木質ペレットを製造出来る体制の整備を支援します。</p> <p>これらの事業により、地域全体での「自然資源(緑)の循環」の形成を目指します。</p> <p>「人に優しい助け合い社会」としては、大規模な高齢者介護施設を1箇所整備するのではなく、日常生活圏域ごとに地域に密着した、地域ニーズにあった小規模な高齢者介護施設の整備を推進します。その施設の利用者と元気な高齢者や地域住民がその施設に集い、花壇づくりなどの作業や子供などとの交流を通して、笑顔溢れる地域コミュニティの実現を図ります。短期間で伊那地区全地域に笑顔溢れる地域コミュニティを形成するために、既存施設を積極的に活用することにより、地域密着型介護施設の整備</p>

新 旧 対 照 表

変更前	変更後
<p>を推進します。</p> <p>汚水処理施設整備による「清らかな水の循環」、森林整備により発生する間伐材等を木質ペレットとして活用する「自然資源(緑)の循環」、これらの循環を大切にしながら、自然とともに生きる「水と緑の循環型社会の形成」を目指すとともに、地域密着型の介護施設を整備し、元気な高齢者をはじめとする地域住民との交流事業を積極的に実施することにより、笑顔溢れる地域コミュニティの形成を目指します。</p> <p>具体的には、以下の目標に取り組みます。また、これらの取り組みを総合的に実施することにより、伊那地区における就業者の所得向上、介護保険における出現率の抑制を図り、地域コミュニティの活性化を推進します。</p> <p>(目標 1) 汚水処理施設整備の促進 (汚水処理人口普及率を伊那地区全体で 79.4%から 88.2%に向上)</p> <p>(目標 2) 森林間伐整備の促進 (5カ年の計画期間中に伊那地区全体森林面積 12,000ha のうち 2,000ha の山林で間伐整備の実施)</p> <p>(目標 3) ペレットストーブ導入促進 (伊那地区内公共及び公共的施設におけるペレットストーブ導入数 23 施設→100 施設)</p> <p>(目標 4) 伊那地区内老人憩いの家の利用促進 (改修による利用者数の増加: 28,744 人(H16 実績)→30,000 人)</p> <p>(中略)</p>	<p>を推進します。</p> <p>汚水処理施設整備による「清らかな水の循環」、森林整備により発生する間伐材等を木質ペレットとして活用する「自然資源(緑)の循環」、これらの循環を大切にしながら、自然とともに生きる「水と緑の循環型社会の形成」を目指すとともに、地域密着型の介護施設を整備し、元気な高齢者をはじめとする地域住民との交流事業を積極的に実施することにより、笑顔溢れる地域コミュニティの形成を目指します。</p> <p>具体的には、以下の目標に取り組みます。また、これらの取り組みを総合的に実施することにより、伊那地区における就業者の所得向上、介護保険における出現率の抑制を図り、地域コミュニティの活性化を推進します。</p> <p>(目標 1) 汚水処理施設整備の促進 (汚水処理人口普及率を伊那地区全体で 79.4%から 88.2%に向上)</p> <p>(目標 2) 森林間伐整備の促進 (5カ年の計画期間中に伊那地区全体森林面積 12,000ha のうち 2,000ha の山林で間伐整備の実施)</p> <p>(目標 3) ペレットストーブ導入促進 (伊那地区内公共及び公共的施設におけるペレットストーブ導入数 23 台→100 台)</p> <p>(目標 4) 伊那地区内老人憩いの家の利用促進 (改修による利用者数の増加: 28,744 人(H16 実績)→30,000 人)</p> <p>(中略)</p>

新 旧 対 照 表

変更前	変更後
<p>(5-2) 法第四章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>①道整備交付金を活用する事業</p> <p>対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。 なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道；道路法に規定する市道に昭和58年3月31日に認定済み。 ただし、美篤中部線は、市町村合併に伴い新市議会で議決予定。 林道；森林法による第11期伊那谷地域森林計画（平成15年樹立）に路線を記載。 <p>[施設の種類（事業区域）、実施主体]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道（伊那地区） 伊那市 林道（伊那地区） 伊那市 <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道（平成17～21年度） 林道（平成18～21年度） <p>[整備量及び事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道 <u>1.44km</u>、林道 <u>0.40km</u> 総事業費 <u>623,000千円</u>（うち交付金 <u>299,500千円</u>） （内訳）市道 <u>563,000千円</u>（うち交付金 <u>281,500千円</u>） 林道 <u>60,000千円</u>（うち交付金 <u>18,000千円</u>） <p>(後略)</p>	<p>(5-2) 法第五章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>①道整備交付金を活用する事業</p> <p>対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。 なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道；道路法に規定する市道に昭和58年3月31日に認定済み。 ただし、美篤中部線は、市町村合併に伴い新市議会で議決予定。 林道；森林法による第11期伊那谷地域森林計画（平成15年樹立）に路線を記載。 <p>[施設の種類（事業区域）、実施主体]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道（伊那地区） 伊那市 林道（伊那地区） 伊那市 <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道（平成17～21年度） 林道（平成18～21年度） <p>[整備量及び事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道 <u>1.36km</u>、林道 <u>0.53km</u> 総事業費 <u>651,000千円</u>（うち交付金 <u>313,900千円</u>） （内訳）市道 <u>593,000千円</u>（うち交付金 <u>296,500千円</u>） 林道 <u>58,000千円</u>（うち交付金 <u>17,400千円</u>） <p>(後略)</p>